

2010年1月13日  
チャンネル銀河株式会社

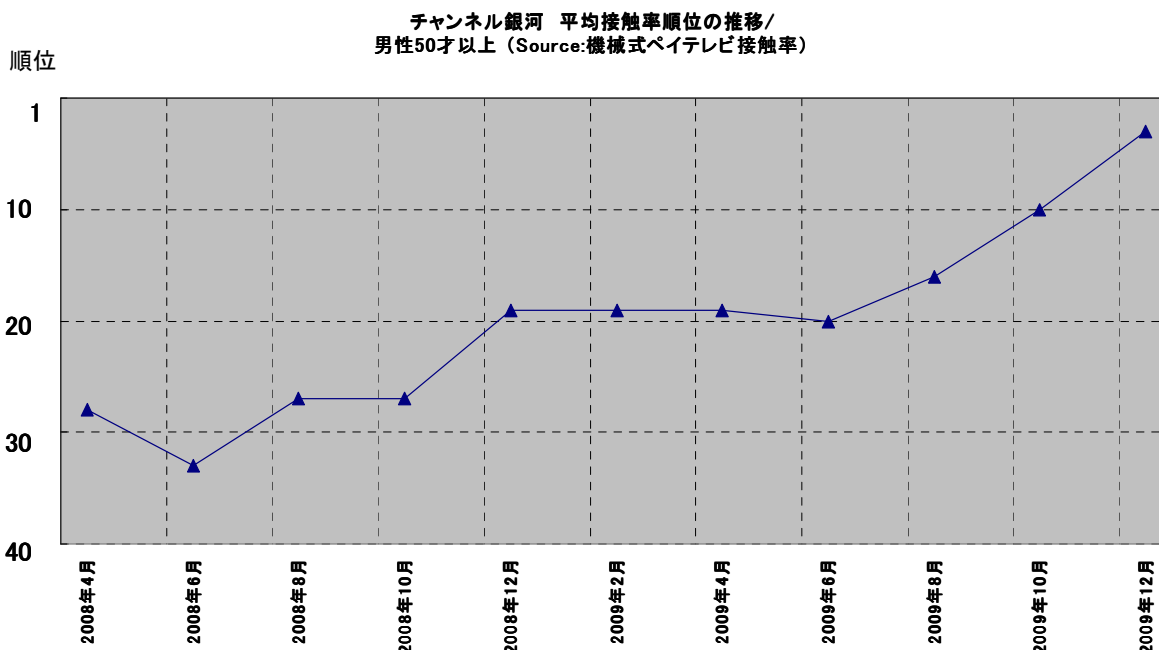
## チャンネル銀河 M3(男性 50 歳以上)の接触率が 3 位に 2009 年 12 月機械式ペイテレビ接触率※1

シニア層をメインターゲットとする総合エンターテインメントチャンネル「チャンネル銀河」(チャンネル銀河株式会社、東京都千代田区、代表取締役社長:高澤裕之)は、2009年12月7日(月)から12月20日(日)に行われた“機械式ペイテレビ接触率”において、M3(男性 50 歳以上)の平均接触率(5-29 時平均)で 37 チャンネル中第 3 位となりました。

チャンネル銀河は、NHK のアーカイブス番組を中心に、ドラマ、ドキュメンタリー、エンターテインメントなどを放送する日本初のシニア向け総合エンターテインメントチャンネルとして、2008 年 4 月に開局しました。

開局当初は、視聴可能世帯数の少なさや認知度の低さから、機械式ペイテレビ接触率は伸び悩みましたが、時代劇の比重を高めた 2008 年秋以降、平均接触率が向上。メインターゲットである M3 では、20 位以内にランクインするようになりました。さらに、ミステリードラマ、サスペンスドラマのランナップを強化した 2009 年の秋以降、接触率は一気に向上し、12 月の調査では、M3 の平均接触率が 3 位までランクアップしました。

番組別の平均接触率では、平日のプライムタイムに放送した「腕におぼえあり」「葵 徳川三代」などの時代劇が上位を占めたほか、「女検事 霞夕子」などのサスペンスドラマも上位にランクインし、時代劇とミステリードラマの人気の高さを裏付けています。





2010年1月からは、月曜から木曜の夜7時から11時まで4時間に及ぶ時代劇ゾーンを新設、時代劇のラインナップと放送時間を増強しました。さらに、4月からは、ミステリードラマの目玉としてイギリスで2003年から放送され人気を博している刑事ドラマ「ニュー・トリックス～退職デカの事件簿～」を日本初放送します。さらに、2010年春には、元NHKアナウンサー山根基世さんがホストを務めるトーク番組「山根基世のこの人に会いたい」、藤沢周平の短編集を松平定知さんの朗読と実写で再現する番組「松平定知の藤沢周平をよむ～『橋ものがたり』より～」がスタート。オリジナル番組のラインナップ充実にも努めます。

※1 機械式ペイテレビ接触率(機械式CS専用チャンネル接触率共同調査)・・・CS専用チャンネル視聴可能な世帯及び世帯内個人を対象としたテレビ視聴測定調査(実施機関:株式会社ビデオリサーチ)

---

【本件に関するお問い合わせ先】  
株)ジュピターテレコム マーケティング企画部 広報グループ  
Tel: 03-6765-8488(代表) Fax: 03-6760-8495  
URL: <http://www.ch-ginga.jp/>